

ドリームチエイサー 代表取締役
汲川 剛氏

助成金受給のため ノウハウを生かしたアドバイス実施へ



ドリームチエイサー(東京都中央区)は、2017年11月に創業した。大手カー用品店やコンサルティング会社で培った経験やノウハウを基に、中小零細企業が大半の自動車整備業界のなかで、助成金の受給や組織力を高めるためのコンサルティングなどを行っていく。「クルマ屋さんが使いやすい助成金を活用しながら全体を見渡したアドバイス」に注力していく考えだ。

―助成金診断が好評だ

具体的に言うと、メカニックが3人、社長が営業を担当して、事務が2人いるような6人以下の整備工場が、7〜8人規模の事業体を目指す形を作りたい。家業ではなく企業にしていきたい。支援事業だ。お客様と仕事を現状から増やす取り組みをするとともに、事務所やトイレ、看板の修繕などといった先行投資の必要もある。これらを予算化して、中小零細の整備工場や販売店の発展につなげていきたい

「各社が自社の課題を認識して、ふに落ちて実際に動いてもらうことが重要だ。そのためには、その会社にあった手順で進める必要がある。整備工場などで働く社員のなかには、将来に明るい希望を描けなかったり、不安に感じている人も一定数いた。夢や目標、前向きな人がたくさんいれば、業界の発展にもつながるはず。そのためのコンサルティングだと考えている」

―中小零細企業向けに総合経営コンサルティングを開始した

「国内の整備工場の大半は中小零細企業で、多くは10人以下の企業規模だ。当社では、そういった企業規模の会社を対象に、助成金の支援や経営相談、経営診断、組織力診断、財務診断などを実施する。もう少し

家業から企業へと
変わるための支援
将来に希望を持てるような業界へ

―立ち上げの経緯は

「これまでに在籍してきたコンサルティング会社では、たくさんの方の整備事業者や販売店のお役立ちになるような支援をしてきたつもりだ。多くの企業が黒字化して利益を出

人材の採用・育成、労働環境の
改善につながる助成金を

「助成金というのは、求める人が自ら調べなければ、分かりやすい案内や提案は来ない。そこで、当社ではクルマ屋さんが使いやすいような助成金をピックアップして案内している。とくに①新たに人を採用するためのもの②社内の人材を育成して、成長を促すもの③就業規則や労働環境の改善により労働環境を整えるもの―が中心になる。助成金は種類も多いし、毎年少しずつ変わったり、昨年あったものが今年はないといったりする。だからこそ、当社では助成金に詳しい社会保険労務士などと業務提携して、各社に最適なものや組み合わせを提案していく。最近では門型洗車機を導入することで、生産性を高め、スタッフの賃金を上げることを目的とした『人材確保等支援助成金』を使った事業者がいた。社員の生活を豊かにするための助成金もあるため相談してほしい」

(太田 千恵)